

## 参考文献

### ◆自然編 第一章 第一節 地形地質概説

波多江信広(一九七六)「大村湾を中心とする地域の地質構造発達史」『鹿児島大学理学部紀要』vol.9 鹿児島大学理学部 二二—四〇頁

星住英夫・尾崎正紀・宮崎一博・松浦浩久・利光誠一・宇都浩三・内海 茂・駒澤正夫・広島俊男・須藤定久(二〇〇四)二〇万分の一の地質図幅『熊本』産業技術総合研究所地質調査総合センター

松本徂夫(一九七三)「多良山系の地形と多良岳火山区の地質」『多良岳自然公園候補地学術調査報告書』財団法人国立公園協会  
森壽美衛(一九二九)「多良嶽西麓地方の地理景観(一)」『地球』第二卷第六号 京都帝国大学内地球學団 二四—四〇頁

小倉 勉(一九一九)「多良嶽火山地質調査報告文」『震災豫防調査會報告』第九〇号 震災豫防調査會

山崎達雄・松本徂夫・菰田正俊(一九六五)「諫早炭田の地質」『九州大学生産科学研究所報告』第四〇号 九州大学生産科学研究所  
八一—二五頁

### ◆自然編 第一章 第二節 大村地域の古第三系

一瀬 亘(一九五二)「大村市の自然環境」『市制拾周年誌』大村市役所 一四—二〇頁

一瀬 亘(一九五三)「大村市南部の地質に就て」『長崎大学学芸学部 自然科学研究報告』第三号 長崎大学学芸学部 三六—四四頁

鎌田泰彦(一九五七)「長崎県矢上炭田東長崎町地区の古第三系層序」『長崎大学学芸学部 自然科学研究報告』第六号 長崎大学学芸学部 三五—四五頁

鎌田泰彦(一九七三)「土地分類基本調査」『大村』五万分の一 長崎県

松井和典・水野篤行(一九六六)「五万分の一の地質図幅説明書」『大村』工業技術院地質調査所

松井和典(一九八九)二〇万分の一の地質図『長崎』工業技術院地質調査所

村田茂雄・森永陽一郎(一九五七)「諫早古第三系」『九州鉱山学会誌』第二五卷第二号 九州鉱山学会 一一—二二頁

長浜春夫・松井和典(一九八二)「早岐地域の地質」『地域地質研究報告』工業技術院地質調査所

日本の地質『九州地方』編集委員会(一九九二)日本の地質九『九州地方』共立出版

小柳孝夫(一九七二)「大村南部の第三紀層と火山岩類」『長崎県の地質』長崎県地学会 七〇—七二頁

小柳孝夫(一九七五)「大村市鈴田峠付近の地質」『長崎県地学会誌』第三号 長崎県地学会 二二—二三頁

松下久道・鎌田泰彦・太田一也・小玉賢一(一九七四)「大村市富ノ原の地下地質」『長崎県地学会誌』第二二号 長崎県地学会 二二—二四頁

小柳孝夫・早田常磐・山口修弘(一九八四)「大村市南部祝崎付近の地質」『長崎県地学会誌』第四一号 「日曜地質巡検会記事」長崎

県地学会 二八—二九頁

山口修弘・早田常磐・小柳孝夫(一九八四)「大村市鈴田地域の古第三紀層」『長崎県地学会誌』第四一号 「日曜地質巡検会記事」長

崎県地学会 二六—二七頁

山崎達雄・松本徂夫・菟田正俊(一九六五)「諫早成田の地質」『九州大学生産科学研究報告』第四〇号 九州大学生産科学研究所

八—二五頁

#### ◆自然編 第一章 第三節 多良岳火山地域及びその他の火山岩類

井川寿之・永尾隆志(一九九六)「北西九州、多良岳火山地域に分布する玄武岩類と安山岩類の成因関係」『岩鉱』第九一卷第九号 日

本岩石鉱床学会 三二—三三八頁

永尾隆志・長谷義隆・井川寿之・長峰 智・阪口和之・山本正継・首藤賢治・林田賢一(一九九五)「九州の平坦面を形成する安山岩

の地質学的・岩石学的特徴」『洪水安山岩』の提唱『地質学論集』第四四号「島弧火山岩の時空変遷」日本地質学会

日本の地質『九州地方』編集委員会(一九九二)日本の地質九『九州地方』共立出版

大島恒彦(一九七〇)土地分類基本調査『鹿島』五万分の一 佐賀県

小形昌徳(一九八九)九州北西部、多良岳地域の火山地質『地質学雑誌』第九五巻第一〇号 日本地質学会 七五五—七六八頁

小倉 勉(一九一九)「多良嶽火山地質調査報告」第九〇号 震災豫防調査會

阪口和則・西村暉希(一九九九)「大村市三浦半島の地質」『長崎県地学会誌』第九〇号 長崎県地学会 一一—一四頁

阪口和則(一九九九)「東彼杵町の地形と地質」『東彼杵町誌』水と緑と道 上巻 東彼杵町教育委員会 三—三三頁

阪口和則・山口修弘(二〇〇七)「大村市岩松付近の地質—特に鈴田川凝灰角礫岩の分布と層序」『長崎県地学会誌』第七一号 長崎

県地学会 一七—二二頁

橋 行一(一九六二)「茂木植物化石層と松浦玄武岩」『長崎大学教養部紀要 自然科学篇』第三巻 長崎大学教養部

松本徂夫(一九六二)「北九州松浦玄武岩の岩石学的研究」『九州大学生産科学研究報告』第三〇号 九州大学生産科学研究所

士志田潔・秦野輝儀・阿部信太郎(二〇〇二)「長崎・佐賀県有田―佐世保―川棚―大村地区と山口県見島のK―Ar年代および火山の時空分布(演習)」地球惑星科学関連学会合同大会予稿集 地球惑星科学関連学会

小形昌徳・高岡宣雄(一九九二)「多良岳地域の火山岩類のK―Ar年代」火山 第三六巻第二号 特定非営利活動法人日本火山学会

宮地大美・松本徭夫(一九九二)「多良火山区における火山岩類のフィッシュントラック年代」火山と岩石の探究 日本から中国・南

極へ 松本徭夫教授記念論文集 松本徭夫教授記念事業会

松本徭夫(一九九二)「西南日本における後期新生代の火山系列と火山活動」火山と岩石の探究 日本から中国・南極へ 松本徭夫教授記念論文集 松本徭夫教授記念事業会

授記念論文集 松本徭夫教授記念事業会

阪口和則・田島俊彦(一九九九)「大村市今富町岩名遺跡のアカホヤ火山灰」長崎県地学会誌 第六三号 長崎県地学会 一五―二二頁

#### ◆自然編 第一章 第四節 大村平野

建設省国土地理院(一九七九)二万五〇〇〇分の一沿岸海域土地条件図「大村」

建設省国土地理院(一九八〇)「沿岸海域基礎調査報告書(大村湾地区)」

町田 洋・太田陽子・河名俊男・森脇 広・長岡信治(二〇〇二)日本の地形七「九州・南西諸島」東京大学出版会

松下久道・鎌田泰彦・太田一也・小玉賢一(一九七四)「大村市富ノ原の地下地質」長崎県地学会誌 第二二号 長崎県地学会 二二―二四頁

長岡信治(一九九七)「黒丸遺跡の地形と地質」黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告「長崎県文化財調査報告書第132集 長崎県教育委員会 六一―六八頁

長岡信治(一九九八)「第一節 長崎県の地形と地質」原始・古代の長崎県 通史編 長崎県教育委員会 五一―八〇頁

日本工営株式会社(一九九五)「平成七年度 大村市ダム適地基礎調査報告書」大村市域地下水資源調査解析業務委託 大村市環境部水資源対策室

齊藤享治(一九九八)大学テキスト「日本の扇状地」古今書院

阪口和則・田島俊彦(一九九九)「大村市今富町岩名遺跡のアカホヤ火山灰」長崎県地学会誌 第六三号 長崎県地学会 一五―二二頁

鈴木 健(一九七七)「箕島の今昔―長崎空港となって消えていった島の物語―」大村史談 第十二号 大村史談会 七〇―七五頁

田中正史(一九七七)「大村扇状地の地形」『日本大学農獣医学部一般教養研究紀要』第三号 日本大学農獣医学部 一一—二二頁  
阪口和則(一九九七)「大村扇状地と周辺の地質」『大村史談』第四十八号 大村史談会  
有明海研究グループ(一九六五)『有明・不知火海域の第四系』——とくに有明軟弱粘土層について——地団研専報第11号 地学団体研究会

会

山野井徹(一九九〇)「黒土の成因に関する地質学的検討」『地質学雑誌』第一〇二巻第六号 日本地質学会  
日本第四紀学会(一九七七)『日本の第四紀研究——その発展と現状——』東京大学出版会

岡村 眞・松岡裕美・上寺 努・松岡敷充・原口 強・竹村恵二(一九九八)「九州西部大村湾の高分解能音波探査による海底活断層

分布と大仁田断層の活動履歴」『地球惑星科学関連学会合同大会予稿集』地球惑星科学関連学会

九州活構造研究会(一九八九)『九州の活構造』東京大学出版会

河野忠博(一九七三)「玖島城(大村城)その(一)」『大村史話』上巻 大村史談会

#### ◆自然編第一章 第五節 大村湾

建設省国土地理院(一九八〇)『沿岸海域基礎調査報告書(大村湾地区)』

建設省国土地理院(一九八二)『沿岸海域基礎調査報告書(早岐地区)』

松岡敷充(二〇〇四)『大村湾』超閉鎖性海域「琴の海」の自然と環境(長崎新聞新書013) 長崎新聞社 六二—八六頁

#### ◆自然編第一章 第六節 地形地質災害及び鉱物資源

藤井紀之(一九六三)「日本の耐火粘土」『地質ニュース』一〇二号 工業技術院地質調査所 九—一八頁

藤井紀之(一九五九)「長崎県大村粘土鉱床概査報告」『地質調査所月報』第一〇巻第二号 工業技術院地質調査所 七三—七八頁

藤野 保編(一九七九)『大村郷村記』第二—六巻 国書刊行会

一瀬 亘(一九六二)「長崎県の鉱業について」『長崎県地学会誌』第一号 長崎県地学会 三—二二頁

活断層研究会(一九九一)新編『日本の活断層——分布図と資料——』東京大学出版会

鎌田泰彦(一九六二)「大村白土雄ヶ原鉱山」『長崎県地学会誌』第一号 「日曜地質巡検会記事」 長崎県地学会 三六頁

九州活構造研究会(一九八九)『九州の活構造』東京大学出版会

河野忠博(一九八五)「大村の民話と伝説」上巻 大村史談会 二七八—二八一頁

松浦律子・中村 操・唐鎌郁夫(二〇〇八)「江戸時代の歴史地震の震源域・規模の再検討作業(講演要旨)」『歴史地震』第三号 建  
設省国土地理院 一四三頁

箕原 稔(一九六六)「耐火粘土 大村地区」『国内鉄鋼原料調査』第四報 通商産業省

中川昌治・白水晴雄(一九八四)「大村粘土中のハロイサイトについて」『粘土科学』第三卷三号 日本粘土学会

長崎県総務部危機管理・消防防災課(二〇〇六)「長崎県地震等防災アセスメント調査報告書 平成十八年三月」長崎県 二二三頁

長崎県衛生研究所(一九六〇)「長崎県の温泉について」『長崎県衛生研究所報』第三号

長崎県衛生研究所(一九六二)「長崎県の温泉(Ⅳ)未利用温泉の泉質」『長崎県衛生研究所報』第四号

長崎県衛生研究所(一九六六)「長崎県の温泉(第5報)」『長崎県衛生研究所報』第八号

長崎県衛生研究所(一九六八)「長崎県の温泉(第6報)」『長崎県衛生研究所報』第九号

長崎県衛生研究所(一九七〇)「長崎県の温泉(第7報)」『長崎県衛生研究所報』第十号

長崎県衛生研究所(一九七二)「長崎県の温泉(第7報)」『長崎県衛生研究所報』第十一号

長崎県衛生研究所(一九七二)「長崎県の温泉(第8報)」『長崎県衛生研究所報』第十二号

長崎県衛生公害研究所(一九七三)「長崎県の温泉(第9報)」『長崎県衛生公害研究所報』第十三号

長崎県衛生公害研究所(一九七四)「長崎県の温泉(第10報)」『長崎県衛生公害研究所報』第十四号

長崎県衛生公害研究所(一九七五)「長崎県の温泉(第11報)」『長崎県衛生公害研究所報』第十五号

長崎県衛生公害研究所(一九七七)「長崎県の温泉(第12報)」『長崎県衛生公害研究所報』第十七号

長崎県衛生公害研究所(一九八一)「長崎県の温泉(第13報)」『長崎県衛生公害研究所報』第二十一号

長崎県衛生公害研究所(一九八二)「長崎県の温泉(第14報)」『長崎県衛生公害研究所報』第二十三号

長崎県衛生公害研究所(一九八四)「長崎県の温泉(第15報)」『長崎県衛生公害研究所報』第二十五号

長崎県衛生公害研究所(一九八五)「長崎県の温泉(第16報)」『長崎県衛生公害研究所報』第二十六号

長崎県衛生公害研究所(一九八七)「長崎県の温泉(第17報)」『長崎県衛生公害研究所報』第二十八号

長崎県衛生公害研究所(一九八八)「長崎県の温泉(第18報)」『長崎県衛生公害研究所報』第三十号

長崎県衛生公害研究所(一九八九)「長崎県の温泉(第19報)」『長崎県衛生公害研究所報』第三十一号

長崎県衛生公害研究所(一九九〇)「長崎県の温泉(第20報)」『長崎県衛生公害研究所報』第三十二号

長崎県衛生公害研究所(一九九二)「長崎県の温泉(第21報)」『長崎県衛生公害研究所報』第三十三号

- 長崎県衛生公害研究所(一九九二)「長崎県の温泉(第22報)」長崎県衛生公害研究所報」第34号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九三)「長崎県の温泉(第23報)」長崎県衛生公害研究所報」第36号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九四)「長崎県の温泉(第24報)」長崎県衛生公害研究所報」第37号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九五)「長崎県の温泉(第25報)」長崎県衛生公害研究所報」第40号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九六)「長崎県の温泉(第26報)」長崎県衛生公害研究所報」第41号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九七)「長崎県の温泉(第27報)」長崎県衛生公害研究所報」第42号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九八)「長崎県の温泉(第28報)」長崎県衛生公害研究所報」第43号  
 長崎県衛生公害研究所(一九九九)「長崎県の温泉(1998年度)」長崎県衛生公害研究所報」第44号  
 長崎県衛生公害研究所(二〇〇〇)「長崎県の温泉(1999年度)」長崎県衛生公害研究所報」第45号  
 長崎県衛生公害研究所(二〇〇一)「鉱泉分析結果(2000年度)」長崎県衛生公害研究所報」第46号  
 長崎県衛生公害研究所(二〇〇二)「鉱泉分析結果(2001年度)」長崎県衛生公害研究所報」第47号  
 長崎県衛生公害研究所(二〇〇三)「鉱泉分析結果(2002年度)」長崎県衛生公害研究所報」第48号  
 長崎県衛生公害研究所(二〇〇四)「鉱泉分析結果(2003年度)」長崎県衛生公害研究所報」第49号  
 長崎地盤研究会／九州橋梁・構造工学研究会(二〇〇五)「長崎県の災害史」長崎出島文庫  
 長崎県土木部(一九八三)「七・三三長崎大水害誌」六三頁  
 長崎県防災会議(長崎県危機管理課)(二〇〇九)「長崎県地域防災計画」  
 大村史談会編(一九九四)「九葉実録」第一冊  
 大村駅(一九三二)「大村駅総覧」(JRR大村駅所蔵)  
 山崎達雄・松本徭夫・菰田正俊(一九六五)「諫早炭田の地質」九州大学生産科学研究報告」第四〇号 九州大学生産科学研究所  
 八一―二五頁
- 一瀬 亘(一九七四)「大村藩の鉱山物語」大村史話」中巻 大村史談会  
 日本地質学会(二〇一〇)「日本地方地質誌八」九州・沖繩地方」朝倉書店 六一―九頁  
 大村市史編纂委員会(一九六一)「大村市史」下巻 大村市 八一―一〇頁 四九一―四九三頁  
 阪口和則(一九九六)「大村・諫早の活断層」長崎県地学会誌」第六〇号 長崎県地学会 一三―二二頁  
 阪口和則(二〇〇七)「大村市の温泉(鉱泉)」大村史談」第五十八号 大村史談会 一一―一九頁

文部科学省地震調査研究推進本部地震調査委員会(一九九九)『日本の地震活動―被害地震から見た地域別の特徴』(第二版) 財団法人地震予知総合研究振興会地震調査研究センター 四九六頁

寺田精介(一九六二)『長崎島の温泉(Ⅳ)未利用温泉の泉質』『長崎県衛生研究所報』第4号 長崎県衛生研究所 六三―六四頁  
特殊エンジニアリングアンドボーリング工業株式会社(一九七四)『大村市萱瀬温泉掘削工事完了報告書』(工事総括者:小玉賢一、協力者:松下久道)

宇佐美龍夫(二〇〇二)『新編日本被害地震総覧』四『被害地震各論』 東京大学出版会 九六頁  
宇佐美龍夫(二〇〇三)『最新版 日本被害地震総覧(四一六)』 東京大学出版会 二〇〇―一頁

◆自然編第一章 第七節 大村市周辺の地史

村田茂雄・森永陽一郎(一九五七)『諫早古第三系』九州鉱山学会誌 第二五卷第二号 九州鉱山学会 一一―二頁

日本列島の地質編集委員会(一九九六)『日本列島の地質』理科年表読本 丸善株式会社

長浜春夫・松井和典(一九五六)『五万分の一地質図幅説明書』『蛸ノ浦』工業技術院地質調査所

◆自然編第一章 第五節 大村湾、自然編第三章 第三節 海洋環境と生物

阪口和則・迎 満康(一九六九)『西彼杵半島東北部及び針尾島南西部の地質について』『南窓』二五 長崎県立佐世保南高等学校 六一―二頁

Hattori, H. & Shibata, K.: 1982 Radiometric dating of Pre-Neogene granitic and metamorphic rocks in Northwest

Kyushu, Japan - with emphasis on geotectonics of the Nishisonozi Zone. Bull. Geol. Surv. Japan, 33: 57-84.

Nogami, M., Matsuno, T., Nakamura, T., Fukumoto T. 2000 Estimation of oxygen consumption rate using T-DO

diagram in the benthic layer of Ohmura Bay, Kyushu, Japan. Jour. Oceanography, 56: 319-329.

福本 正(一九九七)『大村湾における流動特性と水質予測に関する研究』長崎大学大学院海洋生産科学研究所博士論文 一一四頁

飯塚昭二・関霽虹(一九八九)『大村湾における無酸素水塊の形成』『沿岸海洋研究ノート』二六(二) 日本海洋学会沿岸海洋研究会

七五―八六頁

轟木重敏(一九七八)『夏季大村湾底層水の溶存酸素量と水温の相関』『長崎県水産試験場研究報告』第四号 長崎県水産試験場 一―

六頁

波多江信広(一九七六)「大村湾を中心とする地域の地質構造発達史」『鹿児島大学理学部紀要』vol.9 鹿児島大学理学部  
二一—四〇頁

中田正夫・前田保夫・長岡信治・横山祐典・奥野淳一・松本英二・松島義章・佐藤裕司・松田 功・三瓶良和(一九九四)「ハイドロ  
アイソスタシーと西九州の水中遺跡」『第四紀研究』第三卷第五号 日本第四紀学会 二六—三六八頁

長岡信治(一九九七)「黒丸遺跡の地形と地質」『黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告』長崎県文化  
財調査報告書第一〇〇〇集 長崎県教育委員会 六一—六四頁

長岡信治・横山祐典・前田保夫・中田正夫・奥野淳一(一九九五)「長崎県大村湾南岸 伊木力遺跡周辺の沖積層と海面変化」『長崎大  
学教育学部自然科学研究報告』第五三号 長崎大学教育学部 二七—四〇頁

Yokoyama, Y., Nakada, M., Maeda, Y., Nagaoka, S., Okuno, J., Matsumoto, E., Sato, H., & Matsushima, Y. 1996  
Holocene sea-level change and hydro-isostasy along the west coast of Kyushu, Japan. *Palaeogeography,  
Palaeoclimatology, Palaeoecology*, 123, 29-47

高野義人・山口晴生・坂本節子・山口峰生(二〇〇六)「*Chattonella globosa* と *Dictyocha* 属だつた *C. globosa*・*Dictyocha* 属  
の分子系統学的研究」『藻類』第五五号 日本藻類学会 七一頁

松岡數充(二〇〇四)「大村湾」超閉鎖性海域「琴の海」の自然と環境〈長崎新聞新書010〉 長崎新聞社  
国際自然保護連合(International Union for Conservation of Nature and Natural Resources)1994. The IUCN Inverte-  
brate Red Data Book.

Chang, F.H., McVeagh, M., Gall, M., & Smith, P. 2012 *Chattonella globosa* is a member of Dictyochophyceae:  
reassignment to *Vicicitus* gen. nov. based on molecular phylogeny, pigment composition, morphology and life  
history. *phycologia*, 51, 403-420.

Shoto, T. 1953. A study on the foraminiferal assemblage of Omura Bay, Nagasaki Prefecture, Kyusyu. *Japanese  
Journal of Geology and Geography*, 18: 127-138.

伊藤栄樹・飯塚昭二(一九七九)「大村湾における動物プランクトンに関する研究」I 橈脚類の季節的出現」『長崎大学水産学部研究  
報告』(四七) 長崎大学水産学部 五一—四四頁

伊藤栄樹・飯塚昭二(一九八〇)「大村湾における動物プランクトンに関する研究」II 輪虫類、枝角類、矢虫類、尾虫類および底生  
生物幼生の季節的出現」『長崎大学水産学部研究報告』(四九) 長崎大学水産学部 一一—一〇頁

山田鉄雄(一九五七)「大村湾の特徴的な動物プランクトン20種について」『長崎大学水産学部研究報告』(五) 長崎大学水産学部

九一一〇三頁

横山 寿(一九九五)「大村湾のマクロベントス群集—I 動物群集と底層環境との対応」『養殖研究所研究報告』24号 養殖研究所

四二一五三頁

横山 寿(一九九五)「大村湾のマクロベントス群集—II 種組成と水域区分」『養殖研究所研究報告』24号 養殖研究所 五五—七二頁

長崎大学水産学部(一九七六)「大村湾水質汚濁対策総合調査報告書(第一集)」

飯塚昭二・田北 徹(一九八五)「大村湾」I 地質、II 物理、III 化学、IV 生物」『日本全国沿岸海洋誌』日本海洋学沿岸海洋研究部会

東海大学出版会 八七九—九〇〇頁

「大村湾再発見ガイドブック」編集委員会(長崎県環境部自然保護課)(二〇〇七)「大村湾再発見ガイドブック」長崎新聞社 一七五頁

保坂三継・高山尚子・平井正風・権田 基・原 慶明(一九九一)「東京湾におけるラフィット藻 *Chattonella* sp. (球形シャットネフ) の出現」『日本プランクトン学会報』第38巻第1号 日本プランクトン学会 一一八頁

中村三郎ほか画「グラバー図譜」長崎大学附属図書館所蔵

## ◆自然編 第二章 気象

福岡管区気象台(二〇〇九)「異常気象レポート九州・山口県・沖縄版」気象庁(二〇〇五)「異常気象レポート」気象庁(二〇一一)

「過去の気象データ」webページ: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

Hoyt, D. V. & Schatten, K. H. Group Sunspot Numbers: A New Solar Activity Reconstruction, *Solar Phys.* 179, 1998.

Reprinted with figures in *Solar Phys.* 181, 491, 1998.

諫早市教育委員会社会教育課(一九六二)「諫早水害誌」諫早市

気象庁(二〇〇〇)「メッシュ気候値2000年」統計期間一九七〇—二〇〇〇)一般財団法人気象業務支援センター

Kitagawa Matsumoto (1995) Climatic Implications of δ<sup>13</sup>C variations in a Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) during the last two millennia. *Geophysical Research Letters* 22: 2155-2158.

三上五彦(二〇〇五)「過去一〇〇〇年間の気候変動と21世紀の気候予測」『地学雑誌』一一四(一)通巻九九八 東京地学協会

長崎海洋気象台(一九五二)『長崎県気象災害誌』

日本第四紀学会(一九八七)『百年・千年・万年後の日本の自然と人類、第四紀研究にもとづく将来予想』古今書院

大場和彦・鈴木義則・黒瀬義孝・丸山篤志・中本恭子(二〇〇四)『九州・沖縄地域における気象災害に関する農業気象学的研究―特に奈良時代から明治45年までの期間について―』九州沖縄農業研究センター研究資料集『第90号』独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター

大村史談会編(一九九四、一九九七)『九葉実録』第一冊〜五冊・別冊

大村市役所(一九五七)『大村市災害特報』

新野 宏・能登正之・古山享嗣・丸山健人・水野 量・村松照男・渡辺 明(一九九五)『新地学教育講座⑩気象と生活』地学団体研究會 東海大学出版會

橘 行一(一九六三)『諫早水害の自然科学的並びに人文学的究明』『諫早水害誌』 諫早市教育委員会社会教育課 諫早市

トーマス・E・グレーテル／ポール・J・クルツェン／松野太郎監修／塩谷雅人・田中教幸・向川 均訳(一九九七)『気候変動―21世紀の地球とその後』日経サイエンス社

和達清夫(一九七四)『新版気象の事典』東京堂出版

財城真寿美・塚原東吾・三上岳彦・Koner, G. D. (二〇〇二)『出島(長崎)における19世紀の気象観測記録』『地理学評論』第七五巻第四号 日本地理学会 九〇一〜九二頁

### ◆自然編 第三章 第一節 植物

長崎県生物学会(一九九〇)『長崎県生物学会誌』第二七号

外山三郎(一九八〇)『長崎県植物誌』長崎県生物学会

外山三郎(一九八五)『長崎県の天然記念物』増訂再版 長崎県理科教育協会

清水矩宏・広田伸七・森田弘彦(二〇〇二)『日本帰化植物写真図鑑』全国農村教育協会

林 正康(一九八七)『長崎県の山歩き』葦書房

宮崎正隆(二〇〇二)『木霊の宿る空間―長崎県の巨樹・巨木を訪ねて』(長崎新聞新書003) 長崎新聞社

長崎県生活環境部(一九九九)『長崎県自然環境ガイドブック―多良山系・雲仙山系周辺』長崎県自然保護協会

長崎県教育委員会(二〇〇二)『長崎県の文化財』平成12年度 長崎県文化団体協議会

牧野富太郎(一九六二)『牧野新日本植物図鑑』北隆館

林 弥栄(一九八五)『日本の樹木(山溪カラー名鑑)』山と溪谷社

林 弥栄(一九八三)『日本の野草(山溪カラー名鑑)』山と溪谷社

長崎県生物学会(二〇〇二)『多良岳の生物』長崎出版文庫

大村市史編纂委員会(一九六〇)『大村市史』下巻 大村市役所

P・F・Bフォン・シーボルト著/大場秀章監修(二〇〇七)『シーボルト 日本植物誌』ちくま学芸文庫V 筑摩書房

長崎県希少野生動物植物評価選定委員会(二〇〇二)『ながさきの希少な野生動物植物―レッドデータブック2001―』長崎県県民生活環

境部自然保護課

藤野 保編(一九八二)『郡岳并坊屋鋪之事 一郡岳』大村郷村記』第二巻「第十二福重村」国書刊行会

上野盛大(二〇一〇)『山田の滝周辺にある題目淵の碑文』大村の歴史シリーズ①V

大村史談会編(一九九〇)『九葉実録』第一冊

シーボルト著/斎藤信訳(一九六七)『江戸参府紀行』東洋文庫87V 平凡社

藤野 保編(一九八二)『大村郷村記』第一巻〜第八巻 国書刊行会

◆自然編 第二章 第二節 第一項 哺乳類

長崎県レッドデータブック編集委員会(二〇一〇)『長崎県レッドデータブック2011』ながさきの希少な野生動物植物【普及版】長崎

県環境部自然環境課 長崎新聞社

◆自然編 第二章 第二節 第三項 爬虫類

長崎県レッドデータブック編集委員会(二〇一〇)『長崎県レッドデータブック2011』ながさきの希少な野生動物植物【普及版】長崎

県環境部自然環境課 長崎新聞社

◆自然編 第三章 第二節 第四項 両生類

長崎県レッドデータブック編集委員会(二〇一〇)『長崎県レッドデータブック2011』ながさきの希少な野生動物植物【普及版】長崎

県環境部自然環境課 長崎新聞社

◆自然編 第三章 第二節 第五項 魚類

『長崎県の生物』編集委員会(一九八九)『長崎県の生物』長崎県生物学会

長崎県生物学会(二〇〇二)『多良岳の生物』長崎出島文庫

深川元太郎・小原良典(二〇〇四)『大村湾流入河川のシロウオ遡上確認』長崎県生物学会誌 第五八号 長崎県生物学会

深川元太郎・小原良典(二〇〇五)『大村湾環境保全・活性化行動計画に係わる大村湾流入河川の汽水性魚類・十脚甲殻類・貝類調査報告書』長崎県自然保護課(非公刊)

池田兵司(一九三七)『日本産トチャウ科 *Cobitidae* 魚類の性徴とその分類の考察(Ⅱ) *Cobitis taenia japonica* SCHLEGEL に就

て』動物学雑誌 第四十九巻第一號 日本動物學會

三宅琢也・中島 淳・鬼倉徳雄・古丸 明・河村功一(二〇〇八)『ミトコンドリアDNAと形態から見た九州地方におけるニッポン

バラタナゴの分布の現状』日本水産学会誌 第七四巻 第六号 公益社団法人日本水産学会

長崎県レッドデータブック編集委員会(二〇二二)『長崎県レッドデータブックNO.二』ながさきの希少な野生動植物【普及版】長崎

県環境部自然環境課 長崎新聞社

◆自然編 第三章 第二節 第六項 昆虫類

長崎昆虫研究会(一九五二)『こがねむし』No.一六三

長崎昆虫研究会(一九七三)『長崎県の蝶』

『長崎県の生物』編集委員会(一九八九)『長崎県の生物』長崎県生物学会

長崎県生物学会(二〇〇二)『多良岳の生物』長崎出島文庫

◆自然編 第三章 第二節 第七項 水生生物(エビ・カニ類)

『長崎県の生物』編集委員会(一九八九)『長崎県の生物』長崎県生物学会

深川元太郎・小原良典(二〇〇五)『大村湾環境保全・活性化行動計画に係わる大村湾流入河川の汽水性魚類・十脚甲殻類・貝類調査報告書』長崎県自然保護課(非公刊)

環境省自然環境局野生生物課(二〇〇六)『日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック 7(クモ形類・甲殻類等)』改

訂 自然環境研究センター

長崎県レッドデータブック編集委員会(二〇二二)『長崎県レッドデータブックNo.2』ながさきの希少な野生動植物【普及版】長崎  
県環境部自然環境課 長崎新聞社

◆原始編 第一章 旧石器時代

- バーキット著・酒詰伸男訳『旧石器時代』帝塚山大学 一九七四  
海部陽介「人類がたどってきた道」NHKブックス NHK出版 二〇〇五  
堤 隆「列島の考古学 旧石器時代」河出書房新社 二〇一一  
河村善也「更新世の哺乳類」講座 日本の考古学 1 旧石器時代 上 青木書店 二〇一〇  
日本旧石器学会編『日本列島の石器時代遺跡―日本旧石器(先土器・岩宿)時代遺跡のデータベース―』日本旧石器学会 二〇一〇  
早田 勉「更新世堆積物とテフラ」講座 日本の考古学 1 旧石器時代 上 青木書店 二〇一〇  
萩原博文「原の辻型台形石器について」人間・遺跡・遺物―わが考古学論集1―麻生 優編 文献出版 一九八三  
九州旧石器文化研究会「九州の細石器文化」九州旧石器文化研究会 一九九七  
鈴木忠司「野岳遺跡の細石核と西南日本における細石刃文化について」『古代文化』二三一八 財団法人古代学協会 一九七一  
川道 寛「日本列島最西端の細石器文化」『地域と文化の考古学』1 明治大学考古学研究室 二〇〇五  
河出書房新社『日本の考古学』1 先土器時代 河出書房新社 一九六五  
井手寿謙「私の趣味」『玖城』第二四号 長崎県立大村中学校 一九二七  
津田繁二「我が長崎県の先史時代及び原始時代の遺跡、遺物の概略に就いて」『長崎談叢』第二十六輯 長崎史談会 一九四〇  
芹澤長介『日本旧石器時代』岩波書店 一九八一  
駒井和愛 八幡一郎監修『先史時代』1 無土器文化 日本評論社 一九五七  
井手寿謙「考古学上より見たる大村地方の遺物について」『大村史談』第七号 大村史談会 一九七二  
財団法人古代学協会『古代文化』第23巻8号 一九七一  
鎌木義昌「細石器問題の進展(三)」『貝塚』第88号 貝塚研究会 一九五九

- 芹澤長介『石器時代の日本』築地書館 一九六〇
- 鎌木義昌・間壁忠彦「七 九州地方の先石器時代」『日本の考古学Ⅰ 先石器時代』河出書房新社 一九六五
- 萩原博文「第二章 平戸の旧石器時代」『平戸市史 自然・考古編』平戸市 一九九五
- 佐藤宏之「環日本海地域における細石刃石器群の伝播と構造変動」『東京大学公開シンポジウム予稿集』東京大学 二〇〇八
- 田村 隆「石器石材の需給と集団関係」講座『日本の考古学 2 旧石器時代 下』青木書店 二〇一〇
- 堤 隆「旧石器時代ガイドブック」遺跡を学ぶ別冊02 新泉社 二〇〇九
- 田村 隆「旧石器社会と日本民俗の基層」同成社 二〇一〇
- 木村英明「北の黒曜石の道・白滝遺跡群」新泉社 二〇〇五
- 川道 寛「西北九州細石器文化終末期の石材獲得」『九州旧石器』第一四号 九州旧石器文化研究会 二〇一〇
- 麻生 優「石器文化の性格 四 細石器文化」『日本の考古学』1 河出書房新社 一九六五
- 麻生 優「泉福寺洞穴の発掘記録」佐世保市教育委員会 一九八五
- 安藤政雄『旧石器時代の日本列島史』学生社 二〇一〇
- 井手寿謙・正林護「細石刃核の接合資料」『長崎県の考古学』1 長崎県考古学会 一九七九
- 稲田孝司「遊動する旧石器人」先史日本を復元する1 岩波書店 二〇〇二
- 大村市文化財保護協会「寿古遺跡 県営圃場整備事業福重地区にかかる遺跡発掘調査報告」大村市文化財調査報告15 一九九二
- 岡本東三「九州島の細石器文化と神子柴文化」『泉福寺洞穴研究編』泉福寺洞穴研究編刊行会 二〇〇二
- 加藤十久雄・井手寿謙氏の考古学資料「大村史談」第八号 大村史談会 一九七三
- 鎌木義昌・芹澤長介「長崎県福井岩陰」第一次発掘調査の概報「『考古学集刊』三一」明治大学文学部考古学研究会 一九六五
- 川道 寛「茶園遺跡」岐宿町文化財調査報告書第三集 岐宿町教育委員会 一九九八
- 川道 寛「九州地方の細石器研究の現状と課題」『九州旧石器』第六号 九州旧石器文化研究会 二〇〇二
- 川道 寛「茶園遺跡の再評価(一)——位牌塔型と茶園型の間に——」『九州旧石器』第六号 九州旧石器文化研究会 二〇〇二
- 川道 寛「長崎県の旧石器時代」『長崎県埋蔵文化財センター研究紀要』第一号 長崎県埋蔵文化財センター 二〇一〇
- 清水宗昭「針尾島の黒曜石原産地群——付亀岳の原石——」『速見考古』1 九州先史研究会 一九七一
- 清水宗昭「西彼半島西彼町白似田出土の石器について」『考古学論叢』1 別府大学考古学研究会 一九七三
- 下川達彌「佐世保市東浜町淀姫発見の黒曜石産地」『若木考古』74 國學院考古学研究会 一九六五

- 下川達彌「旧石器時代の長崎」森貞次郎博士古希記念古文化論集 森貞次郎博士古希記念論文集刊行会 一九八二
- 橘 昌信「第三章 長崎県のあけぼの」旧石器時代」原始・古代の長崎県 通史編 長崎県教育委員会 一九九八
- 塚原博二「野首遺跡 縄文時代・弥生時代・古墳時代・中世の遺物包含遺跡野崎多目的ダム建設工事に伴う発掘調査」小値賀町文化財調査報告書17 小値賀町教育委員会 二〇〇三
- 西海石油共同備蓄株式会社・長崎県教育委員会「ケイマンゴ」遺跡」長崎県文化財調査報告書第52集 一九八〇
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ」長崎県文化財調査報告書第54集 一九八一
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ」長崎県文化財調査報告書第56集 一九八二
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ」長崎県文化財調査報告書第64集 一九八三
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ」長崎県文化財調査報告書第65集 一九八三
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅴ」長崎県文化財調査報告書第72集 一九八五
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ」長崎県文化財調査報告書第74集 一九八五
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ」長崎県文化財調査報告書第85集 一九八六
- 長崎県教育委員会「百花台広域公園建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書第92集 一九八八
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅵ」長崎県文化財調査報告書第93集 一九八九
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ」長崎県文化財調査報告書第98集 一九九〇
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅷ」長崎県文化財調査報告書第99集 一九九一
- 長崎県教育委員会「県道国見雲仙線改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書第116集 一九九四
- 中島真澄「長崎県の洞穴遺跡の特徴と泉福寺洞穴周辺の遺跡」泉福寺洞穴研究編 泉福寺洞穴研究編刊行会 二〇〇二
- 萩原博文「堤西牟田遺跡」平戸市の文化財20 平戸市教育委員会 一九八五
- 萩原博文・加藤有重・塩塚浩「堤西牟田遺跡Ⅱ」平戸市教育委員会 一九八五
- 萩原博文「西北九州旧石器時代における集団関係について」長崎談叢 第八十輯 長崎史談会 一九九三
- 萩原博文「九州北西部の地域編年」旧石器時代の地域編年的研究 同成社 二〇〇六
- 諫早市埋蔵文化財調査協議会「下峰原遺跡 諫早西部団地開発事業に伴う発掘調査報告書」諫早市埋蔵文化財調査協議会調査報告書 第二集 一九九八
- 諫早市埋蔵文化財調査協議会「下峰原高場遺跡」諫早西部新住宅市街地開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査」諫早市埋蔵文化財調

査協議会調査報告書第4集 二〇〇二

江迎町教育委員会『根引池遺跡』江迎町文化財調査報告書第2集 二〇〇〇

松藤和人・森浩一ほか『百花台東遺跡 雲仙・普賢岳北麓の後期旧石器時代遺跡の調査』同志社大学文学部考古学調査報告書第八冊

同志社大学文学部考古学研究室 一九九四

◆原始編 第二章 縄文時代 第一節 第三節 第四節

辻誠一郎『列島の環境史』いくつもの日本Ⅱ あらたな歴史へ』岩波書店 二〇〇二

山内清男『縄紋土器型式の細別と大別』『先史考古学』一一一 先史考古学会 一九三七

山内清男『縄紋草創期の諸問題』MUSEUM第224号 日本考古展特集別刷 東京国立博物館 一九八九

長崎県教育委員会『長崎県遺跡地図』長崎市・諫早市・大村市・西彼杵郡・北高来郡地区 長崎県文化財調査報告書第110集

一九九四

松岡敦充『大村湾』超閉鎖性海域『琴の海』の自然と環境へ長崎新聞新書013』長崎新聞社 二〇〇四

安楽 勉『松山A遺跡』『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第93集 長崎県教育

委員会 一九八九

長崎県教育委員会『玖島城跡』長崎県文化財調査報告書第167集 二〇〇二

長岡信治・中尾篤志『ハイドロアイソスタシーと遺跡群』『縄文時代の考古学3 大地と森の中で』同成社 二〇〇九

佐賀市教育委員会『東名遺跡群Ⅱ』佐賀市文化財調査報告書第40集 二〇〇九

福岡市教育委員会『浜の町貝塚』福岡市埋蔵文化財調査年報vol.23 二〇〇九

川道 寛『つくめのはな遺跡のクジラ漁』『縄文時代の考古学5 食糧生産の技術』同成社 二〇〇七

水ノ江和同『九州における縄文時代早期末葉の評価』『南の縄紋・地域文化論考 新東晃一代表遺暦記念論文集』南九州縄文研究会・

新東晃一代表遺暦記念論文集刊行会 二〇〇九

宝珍伸一郎『超大型礫石錘に関する二、三の考察』『伊木力遺跡』多良見町教育委員会・同志社大学考古学研究室 一九九〇

水ノ江和同『曾畑式土器の出現 東アジアにおける先史時代の交流』『古代学研究』一一七 古代学研究会 一九八八

多良見町教育委員会・同志社大学考古学研究室『伊木力遺跡』多良見町文化財調査報告書第7集 一九九〇

長崎県教育委員会『伊木力遺跡Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第134集 一九九七

- 中尾篤志「長崎県の縄文住居」九州の縄文住居Ⅱ「第一八回九州縄文研究会熊本大会 九州縄文研究会 二〇〇八
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ」長崎県文化財調査報告書第85集 一九八六
- 諫早市埋蔵文化財調査協議会「下峰原遺跡 諫早西部団地開発事業に伴う発掘調査報告書」諫早市埋蔵文化財調査報告書第2集 一九九八
- 西海石油共同備蓄株式会社・長崎県教育委員会「ケイマンゴ―遺跡」長崎県文化財調査報告書第52集 一九八〇
- 橋口達也「大形棺成立以前の甕棺の編年」九州歴史資料館研究論集17 九州歴史資料館 一九九二
- 木村幾太郎「交易のはじまり」考古学による日本歴史10 対外交渉 雄山閣 一九九七
- 甲元眞之「環東中国海の先史漁撈文化」文学部論叢第65号 熊本大学文学会 一九九九
- 山崎純男「西北九州漁撈文化の特性」季刊考古学第25号 雄山閣 一九八八
- 渡辺 誠「西北九州の縄文時代漁撈文化」列島の文化史2 日本エディタースクール出版部 一九八五
- 中尾篤志「九州地方の縄文時代漁撈具」韓・日新石器時代の漁撈と海洋文化」第八回韓・日新石器時代行動学術大会発表資料集 韓  
国新石器学会・九州縄文研究会 二〇〇九
- 福田一志「西北九州における縄文後期遺跡の特性―土器分布・石器を中心として―」西海考古 創刊号 西海考古同人会 一九九九
- 島原市教育委員会「小原下遺跡―株式会社東洋機工製作所工場建設に伴う発掘調査報告―」島原市文化財調査報告書第12集 二〇一一
- 島原市教育委員会「小原下遺跡Ⅱ―株式会社東洋機工製作所工場建設に伴う発掘調査報告―」島原市文化財調査報告書第13集 二〇一一
- 甲元眞之「考古学研究と環境変化」西海考古」第六号 西海考古同人会 二〇〇五
- 藤森栄一「縄文農耕」学生社 一九七〇
- 賀川光夫「縄文時代の農耕」考古学ジャーナル」一九六六年二月号 北隆館 ニューサイエンス社 一九九六
- 中沢道彦「縄文農耕論をめぐって―栽培植物種子の検証を中心に―」弥生時代の考古学5 食糧の獲得と生産」同成社 二〇〇九
- 宮本一夫「朝鮮半島新石器時代の農耕化と縄文農耕」古代文化」第五五巻第七号 財団法人古代学協会 二〇〇三
- 宮本一夫「園耕と縄文農耕」韓・日新石器時代の農耕問題」第六回韓・日新石器時代共同学術大会発表資料集 韓国新石器学会・九  
州縄文研究会 二〇〇五
- 幸泉満夫「西日本初期扁平打製石鍬集成図譜」山口県立博物館研究報告」第33号 二〇〇七

- 幸泉満夫「西日本における打製石鍬の出現」『地域・文化の考古学—下條信行先生退任記念論文集—』愛媛大学法文学部考古学研究  
室下條信行先生退任記念事業会 二〇〇八
- 小畑弘己『東北アジア古民族植物学と縄文農耕』同成社 二〇一一
- 中山誠二『植物考古学と日本の農耕の起源』同成社 二〇一〇
- 小畑弘己・佐々木由香・仙波靖子「土器圧痕からみた縄文時代後・晩期における九州のダイズ栽培」『植生史研究』第一五巻第二号  
日本植生史学会 二〇〇七
- 深江町教育委員会『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第2集 二〇〇六
- 小畑弘己「縄文時代におけるアズキ・ダイズの栽培について」『先史学・考古学論究V 甲元眞之先生退官記念』龍田考古会  
二〇一〇
- 宮本一夫「縄文農耕と縄文社会」『古代史の論点—環境と食糧生産 小学館 二〇〇〇
- 松本直子「伝統と変革に揺れる社会—東アジアにおける先史時代の交流」『古代学研究』第117号 古代学研究会 二〇一一
- 水ノ江和同「北部九州の縄紋後・晩期土器—三万田式から刻目突帯文土器の直前まで—」『縄文時代』第8号 縄文時代文化研究会  
一九九七
- 宮地聡「郎」刻目突帯文土器圏の成立(上・下)『考古学雑誌』第八八巻第一・二号 日本考古学会 二〇〇四
- 小南裕二「北部九州地域における弥生文化成立期前後の土器編年」『古文化談叢』第五二集 九州古文化研究会 二〇〇五
- 大野安生「黒丸遺跡沖田地区出土土器の検討—黒川式から山ノ寺式までの編年試案—」『西海考古』第四号 西海考古同人会  
二〇〇一
- 山崎純男・片多雅樹「長崎県肥賀太郎遺跡における土器圧痕の検討」『肥賀太郎遺跡』長崎県文化財調査報告書第189集 長崎県教  
育委員会 二〇〇六
- 小畑弘己・仙波靖子「レブリカ法による長崎県権現脇遺跡出土土器圧痕の種子類の同定」『権現脇遺跡 深江町文化財調査報告書第2  
集 深江町教育委員会 二〇〇六
- 後藤信祐「縄文後晩期の石剣形石製品の研究(上)」『考古学研究』第三三巻第三号 考古学研究会 一九八六
- 後藤信祐「縄文後晩期の石剣形石製品の研究(下)」『考古学研究』第三三巻第四号 考古学研究会 一九八七
- 長崎県教育委員会「野田の久保遺跡」『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書VII』長崎県文化財調査報告書第98  
集 一九九〇

片岡宏「弥生時代渡来人と土器・青銅器」雄山閣 一九九九

千 羨幸「西日本の孔列土器」『日本考古学』第二五号 日本考古学協会 二〇〇八

諫早市教育委員会「風観岳支石墓群発掘調査報告書」諫早市文化財調査報告書第19集 二〇〇六

鹿町町教育委員会「大野台遺跡―I重要遺跡範囲確認報告」一九八三

坂田邦洋「長崎県・小川内支石墓発掘調査報告」『古文化談叢』第五集 九州古文化研究会 一九七八

北有馬町教育委員会「国指定史跡原山支石墓群環境整備事業報告書」一九八一

森貞次郎「日本における初期の支石墓」『金載元博士回甲記念論叢』金載元博士回甲記念論叢編輯委員会 韓国国立中央博物館 一九六九

甲元眞之「西北九州支石墓の一考察」『法文論叢』41 京都大学法学会 一九七八

岩崎二郎「北部九州における支石墓の出現と展開」鏡山猛先生古稀記念 古文化論叢 鏡山猛先生古稀記念論文集刊行会 一九八〇

西谷 正「日朝原始墳墓の諸問題」『東アジア世界における日本古代史講座I』学生社 一九八〇

本間元樹「支石墓と渡来人」『古文化論叢』児嶋隆人先生喜寿記念論集 児嶋隆人先生喜寿記念事業会 一九九一

端野晋平「支石墓伝播のプロセス―韓半島南端部・九州北部を中心として―」『日本考古学』第一六号 日本考古学協会 二〇〇三

泉 拓良「新たな縄文観の創造に向けて」『季刊考古学』第69号 雄山閣 一九九九

小林行雄「日本考古学概説」創元社 一九五一

下條信行「日本稲作受容期の大陸系磨製石器の展開―宇木汲田貝塚1984年度調査出土石器の報告を兼ねて―」『日本における初期

弥生文化の成立 横山浩一先生退官記念論文集Ⅱ 横山浩一先生退官記念事業会 文献出版 一九九一

佐原 真「農業の開始と階級社会の形成」『岩波講座日本歴史』原始および古代1 岩波書店 一九七五

白石太 郎「弥生・古墳文化論」『岩波講座日本通史』第2巻 古代1 岩波書店 一九九三

仙波靖子・小畑弘己「土器片痕資料調査報告」『極東先史古代の穀物』3 文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書(基盤研究)(B)

## 2) 熊本大学 二〇〇八

武末純「近年の時代区分論議 特に弥生時代の開始を中心に」『日本における初期弥生文化の成立』文献出版 一九九一

田崎博之「弥生土器の起源」『論争・学説日本の考古学』第4巻 弥生時代 雄山閣 一九八六

端野晋平「計測的・非計測的屬性と型式を通じた石包丁―韓半島南部と北部九州を素材として―」『日本考古学』第二六号 日本考古

## 学協会 二〇〇八

藤尾慎一郎『水稻農耕開始期の地域性』『考古学研究』三八―二 考古学研究会 一九九一

藤本 強『もつ二つの日本文化 北海道と南島の文化』 東京大学出版会 一九八八

町田利幸・荒木伸也『黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第132

集 長崎県教育委員会 一九九七

家根祥多『遠賀川式土器の成立をめぐる一西日本における農耕社会の成立』『論苑考古学』坪井清足さんの古希を祝う会 天山

舎 一九九三

長崎県教育委員会『黒丸遺跡Ⅳ』長崎県文化財調査報告書第204集 二〇一〇

黒丸遺跡調査会『黒丸遺跡』長崎県大村市黒丸町所在黒丸遺跡の調査報告 一九八〇

大村市教育委員会『黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇.1>』大村市文化財調査報告書第20集 一九九七

大村市教育委員会『黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇.2>』大村市文化財調査報告書第24集 二〇〇〇

大村市教育委員会『黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇.3>』大村市文化財調査報告書第25集 二〇〇三

大村市教育委員会『市内遺跡発掘調査概報1』大村市文化財調査報告書第30集 二〇〇七

長崎県教育委員会『黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第132集

一九九七

長崎県教育委員会『黒丸遺跡Ⅲ』長崎県文化財調査報告書第201集 二〇〇七

## ◆ 原始編 第二章 縄文時代 第二節

麻生 優『泉福寺洞穴の発掘記録』佐世保市教育委員会 一九八四

井手寿謙『考古学上より見たる大村地方の遺物について』『大村史談』第七号 大村史談会 一九七二

岡本東三『九州島の細石器文化と神子柴文化』『泉福寺洞穴研究編』泉福寺洞穴研究編刊行会 二〇〇二

織笠 昭『西海技法の研究』『東海大学紀要文学部』54 東海大学文学部 一九九〇

鎌木義昌・芹澤長介『長崎県福井岩陰 第一次発掘調査の概要』『考古学集刊』第3巻第1号 東京考古学会 一九六五

川道 寛『茶園遺跡』岐宿町文化財調査報告書第3集 岐宿町教育委員会 一九九八

川道 寛『九州地方の細石器研究の現状と課題』『九州旧石器』第六号 九州旧石器文化研究会 二〇〇二

川道 寛『第一編 原始時代考古編 第二章縄文時代』『佐世保市史』通史編 上巻 佐世保市史編さん委員会 二〇〇二

- 川道 寛「日本列島最西端の細石器文化」『地域と文化の考古学』Ⅰ 明治大学考古学研究室 二〇〇五
- 栗島義明「福井4層」『利根川』一四 利根川同人会 一九九三
- 芹澤長介「石器時代の日本」築地書館 一九六〇
- 橘 昌信「第三章 長崎県のあけぼの」『旧石器時代』『原始・古代の長崎県 通史編』長崎県教育委員会 一九九八
- 辻田直人・山下美郷「伊古遺跡」雲仙市文化財調査報告書(概報)5 雲仙市教育委員会 二〇〇八
- 長崎県教育委員会「堂崎遺跡調査報告書」長崎県文化財調査報告書第10集 一九七一
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ」長崎県文化財調査報告書第54集 一九八一
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ」長崎県文化財調査報告書第56集 一九八二
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ」長崎県文化財調査報告書第64集 一九八三
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅳ」長崎県文化財調査報告書第65集 一九八三
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅴ」長崎県文化財調査報告書第72集 一九八五
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅵ」長崎県文化財調査報告書第74集 一九八六
- 長崎県教育委員会「諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ」長崎県文化財調査報告書第85集 一九八六
- 長崎県教育委員会「百花台広域公園建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書第92集 一九八八
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅵ」長崎県文化財調査報告書第93集 一九八九
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ」長崎県文化財調査報告書第98集 一九九〇
- 長崎県教育委員会「九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅷ」長崎県文化財調査報告書第99集 一九九一
- 長崎県教育委員会「県道国見雲仙線改良工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書第116集 一九九四
- 中島真澄「長崎県の洞穴遺跡の特徴と泉福寺洞穴周辺の遺跡」『泉福寺洞穴研究編』泉福寺洞穴研究編刊行会 二〇〇二
- 萩原博文「西北九州旧石器時代における集団関係について」『長崎談叢』第八十輯 長崎史談会 一九九三
- 萩原博文「第2章 平戸の旧石器時代」『平戸市史 自然・考古編』平戸市 一九九五
- 萩原博文「縄文草創期の細石刃石器群」『日本考古学』第二号 日本考古学協会 二〇〇一
- 萩原博文「九州北西部の地域編年」『旧石器時代の地域編年の研究』同成社 二〇〇六
- 横田義章「いわゆる「神子柴型」石斧」の資料」『研究論集』7 九州歴史資料館 一九八一
- 綿貫俊一「長者久保・神子柴分化並行段階の九州」『古文化談叢』九州古文化研究会 一九九二

◆原始編 第三章 弥生時代

- 黒丸遺跡調査会『黒丸遺跡』長崎県大村市黒丸町所在黒丸遺跡の調査報告 一九八〇
- 土肥利男『多良山麓研究』一九六五
- 大村市教育委員会『富の原 大村市富の原1・2丁目』所在する遺跡群の範囲確認調査『大村市文化財調査報告書第12集』一九八七
- 大村市教育委員会『冷泉遺跡』黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇〇>『大村市文化財調査報告書第25集』二〇〇三
- 東彼杵町教育委員会『白井川遺跡 彼杵中央地区圃場整備事業にかかる調査』東彼杵町文化財調査報告書第3集 一九八九
- 東彼杵町教育委員会『白井川遺跡(Ⅱ)』東彼杵町文化財調査報告書第4集 一九九〇
- 稗田遺跡調査会『稗田遺跡 弥勒寺地区農業構造改善事業にかかる遺跡の発掘調査報告書』一九八八
- 川道 寛『化屋大島遺跡』多良見町郷土誌 多良見町教育委員会 一九九五
- 諫早市教育委員会『林ノ辻遺跡』諫早市文化財報告書第4集 一九八三
- 正林 護『諫早市出土の銅剣』九州考古学 第41号〜第44号 九州考古学会 一九七一
- 小田富士雄『島原半島景華園の遺物』考古学雑誌 第45巻第3号 日本考古学会 一九五九
- 佐世保市教育委員会『宮の本遺跡緊急調査概報 昭和54年度』一九八〇
- 佐世保市教育委員会『四反田遺跡発掘調査報告書 平成5年度』佐世保市埋蔵文化財発掘調査報告書 一九九四
- 長崎県教育委員会『門前遺跡Ⅱ 一般国道497号佐々佐世保道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ』長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書第4集 二〇〇八
- 松下孝幸・分部哲秋・中台昭二『大村市富の原遺跡出土の弥生時代人骨』『富の原 大村市富の原1・2丁目』所在する遺跡群の範囲確認調査『大村市文化財調査報告書第12集 大村市教育委員会 一九八七
- 長崎県教育委員会『黒丸遺跡Ⅰ 都市計画道路路杭出津 松原線改良工事に伴う発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第127集 一九九六
- 諫早市教育委員会『風観岳支石墓群発掘調査報告書』諫早市文化財調査報告書第19集 二〇〇六
- 大村市教育委員会『黒丸遺跡 古賀島4遺跡 宝生寺跡 大村館墓地』『黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇二>』大村市文化財調査報告書第20集 一九九七
- 大村市教育委員会『黒丸遺跡ほか発掘調査概報<〇13>』大村市文化財調査報告書第25集 二〇〇三
- 大村市教育委員会『富の原遺跡・大村館墓地・下荒瀬山下墓地』大村市文化財調査報告書第21集 一九九八

長崎県教育委員会『黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第132集  
一九九七

◆原始編 第四章 古墳時代

- 「古事記 先代舊事本紀 神道五部書」新訂増補国史大系 第七卷 黒板勝美編 吉川弘文館 一九九八  
「日本書紀」前編「新訂増補国史大系」第一卷上 黒板勝美編 吉川弘文館 一九六六  
「日本書紀」後編「新訂増補国史大系」第一卷下 黒板勝美編 吉川弘文館 一九六七  
石原道博編訳「新訂 魏志倭人伝・後漢書倭伝・宋書倭国伝・隋書倭国伝」岩波文庫 岩波書店 一九九八  
鳥越憲二郎『古代朝鮮と倭族』中公新書 中央公論新社 一九九七  
小値賀町教育委員会『神ノ崎遺跡』小値賀町文化財調査報告書第4集 一九八四  
長崎県学芸文化課作成ホームページ (<http://www.pref.nagasaki.jp/sekubun/>)  
田平町教育委員会『笠松天神社古墳』田平町文化財調査報告書第4集 一九八九  
宮崎貴夫「第二節 肥前西部(長崎県)」『前方後円墳集成 九州編』山川出版社 一九九二  
藤田和裕「一六 笠松天神社古墳」『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七  
長崎県教育委員会『県内古墳詳細分布調査報告』長崎県文化財調査報告書第106集 一九九二  
長崎県教育委員会『県内主要遺跡内容確認調査報告書Ⅱ 岳崎古墳』長崎県文化財調査報告書第151集 一九九九  
町田利幸「九三 守山大塚古墳」『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七  
雲仙市教育委員会『守山大塚古墳』雲仙市文化財調査報告書第7集 二〇一〇  
古田正隆「第四章 吾妻町の古墳文化 1、大塚古墳」『吾妻町史』吾妻町 一九八三  
雲仙市教育委員会『龍王遺跡(倉地川古墳)』雲仙市文化財調査報告書(概報)第1集 二〇〇六  
藤田和裕「第六節 長崎県の古墳文化」『原始・古代の長崎県 通史編』長崎県教育委員会 一九九八  
小林行雄編『裝飾古墳』平凡社 一九六四  
八女市教育委員会『八女古窯跡群調査報告』Ⅳ 一九七二  
八女市教育委員会『八女古窯跡群調査報告』Ⅲ 一九七一  
東彼杵町教育委員会『ひさご塚古墳』東彼杵町文化財調査報告書第5集 一九九一

- 東彼杵町教育委員会『ひさご塚古墳Ⅱ』東彼杵町文化財調査報告書第6集 一九九四
- 長崎県教育委員会『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』一九九七
- 長崎史談会『長崎談叢』第九輯 一九三二
- 大石一久『郡川周辺における中世寺院の性格について』『稗田遺跡 弥勒寺地区農業構造改善事業にかかる遺跡の発掘調査報告書』
- 稗田遺跡調査会 一九八八
- 津田繁二『我が長崎県の先史時代及び原始時代の遺跡遺物の概略について』『長崎談叢』第二十六輯 長崎史談会 一九四〇
- 穴沢味光・馬目順一『獅噓環刀試考』『信濃』第三二卷第四号 信濃史学会 一九七九
- 長崎県教育委員会『鬼の穴古墳』長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅲ『長崎県文化財調査報告書第50集 一九八〇
- 藤野 保編『大村郷村記』第二卷『第十一竹松村』国書刊行会 一九八一
- 藤田和裕『第二章 県史 第一節 原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七
- 大村市教育委員会『冷泉遺跡』黒丸遺跡ほか発掘調査概報vol.3 1998～2002』大村市文化財調査報告書第25集 二〇〇三
- 正林 護『小佐古石棺』長崎大学医学部解剖学第二教室 一九六九
- 大村市教育委員会『小佐古石棺墓群―B地点―』大村市文化財調査報告書第13集 一九八八
- 稲富裕和『七―小佐古B遺跡』『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七
- 大村市教育委員会『小佐古石棺群B地点Ⅱ』大村市文化財調査報告第19集 一九九五
- 平凡社『長崎県の地名』日本歴史地名大系第四三巻 二〇〇一
- 藤野 保・清水紘一編『大村見聞集』高科書店 一九九四
- 高倉洋彰『右手の不使用』九州歴史資料館研究論集』1 九州歴史資料館 一九七四
- 木下尚子『南海産貝製腕輪はじまりへの予察』『日本民族・文化の生成』1 永井昌文教授退官記念論文集 九州大学永井昌文教授退官記念論文集刊行会 一九八八
- 木下尚子『南海産貝輪着装習俗の構造』『南島貝文化の研究』貝の道の考古学 法政大学出版局 一九九六
- 酒詰仲男ほか『肥前下ノ釜貝塚発掘報告』『人類学雑誌』第五八巻第一〇号 日本人類学会 一九四三
- 小田富士雄『五島列島の弥生文化―総説篇―』『長崎大学人類学考古学研究報告』第二号 長崎大学医学部解剖学第二教室 一九七〇
- 小田富士雄『九州考古学研究―弥生時代篇―』学生社 一九八三
- 小田富士雄『長崎県大村市・黄金山古墳調査報告』九州考古学』第39・40号 九州考古学会 一九七〇

- 時津町教育委員会「前島古墳群Ⅱ」時津町埋蔵文化財調査報告書第2集 一九九四
- 佐野 一「長崎県大村市・黄金山古墳の人骨」九州考古学 第39・40号 九州考古学会 一九七〇
- 開 正和「大村市黄金山古墳の調査」『西海考古』第2号 西海考古同人会 二〇〇〇
- 古門雅高「黄金山古墳出土土師器の検討」『西海考古』創刊号 西海考古同人会 一九九九
- 竹中哲朗「大村湾・橘湾沿岸の古墳・箱式石棺の検討」『西海考古』第5号 西海考古同人会 二〇〇三
- 長崎県教育委員会Ⅲ 久津石棺群の調査「長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅰ」長崎県文化財調査報告書第35集 一九七八
- 寺田正剛「久津石棺群」原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ 長崎県教育委員会 一九九七
- 長崎県教育委員会Ⅱ ひさご塚古墳・鬼の穴古墳・野田古墳「長崎県文化財調査報告書第50集 一九八〇
- 大村市教育委員会「玖島崎古墳群」大村市文化財調査報告書第17集 一九九三
- 小松 旭「七二 玖島崎古墳群」原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ 長崎県教育委員会 一九九七
- 長崎県教育委員会「野田古墳」長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅲ「長崎県文化財調査報告書第50集 一九八〇
- 宮崎貴夫「六四 野田古墳」原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ 長崎県教育委員会 一九九七
- 長崎県教育委員会「野田古墳」九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅵ「長崎県文化財調査報告書第93集 一九八九
- 松浦市教育委員会「小嶋古墳群」松浦市文化財調査報告書第4集 一九八八
- 小長井町教育委員会「長戸鬼塚古墳―修復整備に伴う発掘調査―」小長井町文化財調査報告書第1集 一九九八
- 長岡信治「黒丸遺跡の地形と地質」『黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告書』長崎県文化財調査報告書第132集 一九九七
- 長崎県教育委員会「黒丸遺跡Ⅱ 都市計画道路杭出津・松原線改良工事に伴う発掘調査報告書」長崎県文化財調査報告書第132集 一九九七
- 長崎県教育委員会「黒丸遺跡Ⅲ」長崎県文化財調査報告書第201集 二〇〇九
- 長崎県教育委員会「黒丸遺跡Ⅳ」長崎県文化財調査報告書第204集 二〇一〇
- 黒丸遺跡調査会「黒丸遺跡」長崎県大村市黒丸町所在黒丸遺跡の調査報告 一九八〇
- 大村市教育委員会「第三章 黒丸遺跡の調査」『市内遺跡発掘調査概報3』大村市文化財調査報告書第34集 二〇〇九
- 大村市教育委員会「第三章 一 黒丸遺跡」『黒丸遺跡ほか発掘調査概報』vol.1 1994～1997」大村市文化財調査報告書第20集

- 長崎県教育委員会『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』一九九七
- 稗田遺跡調査会『稗田遺跡 弥勒寺地区農業構造改善事業にかかるとの遺跡の発掘調査報告書』一九八八
- 大村市教育委員会『二 岩名遺跡』『黒丸遺跡ほか発掘調査概報』Vol.2 1997～1999『大村市文化財調査報告書』第24集 二〇〇〇
- 虎尾俊哉編『訳注日本史料 延喜式』上・中 集英社 二〇〇〇・二〇〇九
- 株式会社 古環境研究所Ⅰ『黒丸遺跡の植物珪酸体分析』『黒丸遺跡Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第127集 一九九六
- 株式会社 古環境研究所Ⅱ『黒丸遺跡における花粉分析』『黒丸遺跡Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第127集 一九九六
- 青木和夫・稲岡耕二・笹山晴生・白藤禮幸校注『続日本紀』一 新日本古典文学大系12 岩波書店 一九八九
- 植垣節也 校注・訳『新編日本古典文学全集5 風土記』小学館 一九九七
- 久松潜 一校註『風土記』上『日本古典選』朝日新聞社 一九七七
- 長崎県教育委員会『原の辻遺跡 幡鉾川流域総合整備計画(圃場整備事業)に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第124集 一九九五
- 宇久町教育委員会『宮ノ首遺跡』宇久町文化財調査報告書2 一九九一
- 勝本町教育委員会『甲山ミルメ浦遺跡』第2次調査報告書Ⅰ『勝本町文化財調査報告書』第7集 一九八九
- 新谷尚紀『民俗学からみる古墳時代』『季刊 考古学』第一一七号 雄山閣 二〇一一
- 小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中 進・毛利正守校注・訳『新編日本古典文学全集4 日本書紀③』小学館 一九九八
- 『日本書紀』後編『新訂増補国史大系』第一巻下 黒板勝美編 吉川弘文館 一九六七
- 和田 萃『殞の基礎的考察』森 浩一編『論集 終末期古墳』歴史学研究会 一九七三
- 福岡大学考古学研究室『国史跡矢立山古墳群』保存修理事業に伴う発掘調査Ⅰ『敵原町文化財調査報告書』第7集 敵原町教育委員会 二〇〇二
- 井上光貞・関 晃・土田直鎮・青木和夫・岩波雄二 郎校注『日本思想大系3 律令』岩波書店 一九七六
- 『今義解』『新訂増補国史大系』第二十二巻 黒板勝美編 吉川弘文館 二〇〇〇
- 『大宝二年筑前国嶋郡川辺里戸籍』『大日本古文書(編年文書)』(東大史料編纂所 奈良時代古文書フルテキストデータベース)
- 武田祐吉・佐藤謙三 訳『読み下し 三代実録(上巻)清和天皇』戎光祥出版 二〇〇九
- 久松潜 一校註『風土記逸文』『風土記』下『日本古典選』朝日新聞社 一九七七

飯田季治校訂『標註 旧事紀校本』瑞穂出版 一九四七

広瀬和雄『吉岐島の後・終末期古墳の歴史の意義』国立歴史民俗博物館研究報告』第158集 国立歴史民俗博物館 二〇一〇

◆古代編 第一章 飛鳥・奈良時代

鎌田元一『律令公民法制の研究』塙書房 二〇〇一

関 晃『天化改新の研究』下『関晃著作集』第二巻 吉川弘文館 一九九六

山中敏史『評制の成立過程と領域区分』東野治之ほか『考古学の学際的研究』昭和堂 二〇〇一

長 洋一『筑紫・火・豊の国の成立』新版 古代の日本 三 九州・沖縄 下條信行・平野博之・知念勇・高良倉吉 角川書店 一九九一

秋本吉郎校注『風土記』岩波書店 一九五八

杉原敦史『古代における彼杵郡と松浦郡の郡境について―考古学的成果に基づく歴史学資料の再検討―』『西海考古』第8号 西海考古同人会 二〇一一

古同人会 二〇一一

鳥浜貝塚グループ『鳥浜貝塚 一九八五年度調査概報・研究の成果』福井県教育委員会・福井県立若狭歴史民俗資料館 一九八七

佐賀県浜玉町教育委員会『史跡谷口古墳保存修理予算報告書』佐賀県浜玉町教育委員会 一九九一

新川登龍男『日本古代史を生きた人々』大修館書店 二〇〇七

井上通泰『肥前風土記新考』巧人社 一九三四

後藤蔵四郎『肥前国豊後国風土記考証』大岡山書店 一九三三

安野眞幸『世界史の中の長崎開港』言視社 二〇一一

沖森卓也・佐藤 信・矢嶋 泉『豊後国風土記―肥前国風土記』山川出版社 二〇〇八

川井石寿『肥前風土記の彼杵郡について(二)』『談林』第18号 佐世保史談会 一九七四

岡村広法『肥前風土記考』肥前風土記考出版委員会 一九七〇

長崎県教育委員会『一般国道497号佐々佐世保道路埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第190集 二〇〇六

長崎県教育委員会『門前遺跡Ⅱ 一般国道497号佐々佐世保道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ』長崎県佐世保文化財調査事務所調査報告書第4集 二〇〇八

勝保 隆『肥前国風土記彼杵郡落石岑の記述について』『風土記研究』第16号 風土記研究会 一九九三  
白石太一郎『古墳と古墳群の研究』塙書房 二〇〇〇

藤田和裕『ひさご塚古墳』『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七

三上喜孝『出挙・農業経営と地域社会』『歴史学研究』第781号 2003年増刊号 歴史学研究会 二〇〇三

藤田和裕『鬼の穴古墳』『原始・古代の長崎県 資料編Ⅱ』長崎県教育委員会 一九九七

日野尚志『筑後国上妻郡家について』『史学研究』第一一七号 広島大学日本史学研究室広島史学研究会 一九七二

足利健亮『郡衙の境域について』『歴史研究』第11号 大阪府立大学歴史研究会 一九六九

大村市文化財保護協会『寿古遺跡 県営圃場整備事業福重地区にかかる遺跡発掘調査報告』一九九二

木下 良『国府』『教育社歴史新書』教育社 一九八八

坂本経堯『古代肥後の復元・総説』『熊本日日新聞』一九六五年五月二四日号

井上 薫『郡寺と国分寺』『続日本古代史論集』上巻 坂本太郎博士古希記念会編 吉川弘文館 一九七二

山中敏史『地方官衙と周辺寺院をめぐる諸問題―氏寺論の再検討―』『地方官衙と寺院―郡衙周辺寺院を中心として―』奈良文化財

研究所 二〇〇五

『角川日本地名大辞典 四一 佐賀県』角川書店 一九九一

木下 良『肥前国』『古代日本の交通路Ⅳ』藤岡謙二郎 大明堂 一九七九

藤野 保編『大村郷村記』第二巻 国書刊行会 一九八一

東彼杵町教育委員会『東彼杵町誌 水と緑と道』上巻 一九九九

木下 良『立石』考―古駅跡の想定に関して―『讀早史談』第八号 讀早史談会 一九七六

木本雅康『古代の道路事情』『歴史文化ライブラリー108』吉川弘文館 二〇〇〇

木下 良『馬籠(マゴメ)』考―古駅想定の手掛かりとして―『信濃の歴史と文化の研究』2 黒坂周平先生喜寿記念論文集 黒坂周平

先生の喜寿を祝う会 一九九〇

大村市教育委員会『三城城跡範囲確認調査報告書』平成一六年度調査までの総括―大村市文化財調査報告書第29集 二〇〇五

木本雅康『古代の官道』『行橋市史』上巻 行橋市教育委員会 二〇〇四

- 木下 良「西海道の古代交通」『古代交通研究』12号 古代交通研究会 二〇〇三
- 木本雅康「条里制の施行」『原始・古代の長崎県 通史編』長崎県教育委員会 一九九八
- 木本雅康「国府と郡家」『原始・古代の長崎県 通史編』長崎県教育委員会 一九九八
- 吉田東伍「大日本地名辞書 第二冊 下」富山房 一九〇一
- 松尾禎作「肥前駅路私考」『郷土研究』第六号 佐賀縣郷土研究会 一九五五
- 佐賀県教育委員会「中原遺跡Ⅰ 西九州自動車道建設に係る文化財調査報告書(4)」佐賀県文化財調査報告書第168集 二〇〇七
- 土肥利男「多良山麓研究」一九六五
- 木下 良「松浦郡の古代駅路(2)」『末盧国』第106号 松浦史談会 一九九一
- 木本雅康「駅制と軍防制」『原始・古代の長崎県 通史編』長崎県教育委員会 一九九八
- シンポジウム「古代国家とのろし」『烽の道』宇都宮市実行委員会・平川 南・鈴木靖民 青木書店 一九九七
- 久保山善映「九州に於ける上代国防施設と烽火の遺蹟」『肥前史談』第13巻第6号 肥前史談会 一九三二
- 木本雅康「古代の官道」『長崎街道―長崎県歴史の道(長崎街道)調査事業報告書Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第154集 長崎県教育委員会 二〇〇〇
- 松原弘宣「河海交通―日本海交通を中心として」『列島の古代史―ひと・もの・こと』第4巻「人と物の移動」上原真人・白石太一郎・吉川真司・古村武彦編 岩波書店 二〇〇五
- 東彼杵町教育委員会「白井川遺跡(Ⅱ)」『東彼杵町文化財調査報告書第4集』一九九〇
- 大村市教育委員会「富の原 大村市富の原1・2丁目」に所在する遺跡群の範囲確認調査「大村市文化財調査報告書第12集 一九八七
- 高重 進「律令制的国郡津制の成立と崩壊」『岡山史学』18号 岡山大学文学部日本史研究室岡山史学会 一九六六
- 千田 稔「埋もれた港」学生社 一九七四
- 長崎県教育委員会「長崎街道―長崎県歴史の道(長崎街道)調査事業報告書Ⅰ」長崎県文化財調査報告書第154集 二〇〇〇
- 金田章裕「条里と村落の歴史地理学研究」『大明朝』一九八五
- 金田章裕「古代景観史の探究 宮都・国府・地割」吉川弘文館 二〇〇二
- 日野尚志「肥前国の条里と古道」小田富士雄編『風土記の考古学Ⅴ「肥前国風土記」の巻』同成社 一九九五
- 長崎県教育委員会「原始・古代の長崎県 通史編」一九九八
- 木本雅康「古代官道の歴史地理」同成社 二〇一一

藤岡謙一郎『古代日本の交通路Ⅳ』大明堂 一九七九

外山幹夫『図説 長崎県の歴史』河出書房新社 一九九六

『上野国交替美録帳』竹内理三編『平安遺文』古文書編第9巻 東京堂出版 一九七四

武田祐吉訳註『古事記』角川文庫 角川書店 一九五六

『日本後紀 続日本後紀 日本文徳天皇実録』新訂増補国史大系『第三巻 黒板勝美編 吉川弘文館 一九六六

坂本太郎校注『日本書紀』下 日本古典文学大系新装版 岩波書店 一九九三

青木和夫・稲岡耕一・笹山晴生・白藤禮幸校注『続日本紀』三 新日本古典文学大系14 岩波書店 一九九二

『日本三代實録』新訂増補国史大系『第四巻 黒板勝美編 吉川弘文館 二〇〇〇

沖森卓也・佐藤 信・矢嶋 泉『豊後国風土記 肥前国風土記』山川出版社 二〇〇八

沖森卓也・佐藤 信・矢嶋 泉『常陸国風土記』山川出版社 二〇〇七

石原道博編訳『新訂 魏志倭人伝・後漢書倭伝・宋書倭国伝・隋書倭国伝』岩波文庫 岩波書店 一九九八

『和名類聚抄』和名類聚抄郡里駅名考証『池邊 彌 吉川弘文館 一九八一

『交替式 弘仁式 延喜式』新訂増補国史大系『第二十六巻 黒板勝美編 吉川弘文館 二〇〇〇

中田祝天校注・訳『日本霊異記』日本古典文学全集6 小学館 一九七五

『律書残篇』改訂史籍集覧『第27冊 近藤瓶城編輯 近藤圭造編輯校訂 近藤活版所 一九〇二

『福田文書』外山幹夫『中世九州社会史の研究』吉川弘文館 一九八六

『観世音寺資財帳』竹内理三編『平安遺文』古文書編第1巻 東京堂出版 一九七四

## ◆古代編 第二章 平安時代 第一節

田中史生『対外交流の進展と国際交易』日本の対外関係2『律令国家と東アジア』荒野泰典・石井正敏・村井章介編 吉川弘文館

二〇一一

東野治之『ありねよし 対馬の渡り―古代の対外交流における五島列島―』『続日本紀の時代』続日本紀研究会 塙書房 一九九四

竹内理三『平安遺文』古文書編第1巻 東京堂出版 一九七四

戸田芳美『初期中世社会史の研究』東京大学出版会 一九九一

亀井明徳『鴻臚館貿易』新版 古代の日本 三 九州・沖繩』下條信行・平野博之・知念 勇・高良倉吉 角川書店 一九九一

永留久恵『対馬古代史論集』 名著出版 一九九一

田中正日子『兵制改革と私貿易』『基山町史』上巻 基山町史編さん委員会・基山町史編集委員会 二〇〇九  
奈良国立文化財研究所『平城京木簡 一』 一九六九

◆古代編 第二章 平安時代 第二節 第三節 第四節

笹山晴生『承平・天慶の乱』『国史大辞典』第七巻 国史大辞典編集委員会 吉川弘文館 一九八六

福田豊彦『中世成立期の軍制と内乱』 吉川弘文館 一九九五

川棚町教育委員会『川棚町郷土誌』 二〇〇二

太宰府市史編集委員会『太宰府市史』通史編Ⅰ 太宰府市 二〇〇五

石井正敏『刀伊』『国史大辞典』第十巻 国史大辞典編集委員会 吉川弘文館 一九八九

瀬野精一郎『長崎県の歴史』(県史シリーズ42) 山川出版社 一九七二

森本正憲『研究余録』原田氏の祖大蔵氏の九州土着』『日本歴史』2007年4月号(707) 日本歴史学会 二〇〇七

太宰府市史編集委員会『太宰府市史』通史編Ⅱ 太宰府市 二〇〇四

溝井録郎『旧彼杵村の中世』『大村史談』第三十二号 大村史談会 一九八八

武雄市史編集委員会『武雄市史』上巻 国書刊行会 一九七二

『長秋記』安田元久・大野達之助・兒玉幸多編『史料による日本の歩み』古代編 吉川弘文館 一九六〇

外山幹夫『図説 長崎県の歴史』(図説日本の歴史42) 河出書房新社 一九九六

川尻秋生『戦争の日本史4 平将門の乱』 吉川弘文館 二〇〇七

似田達雄『史料紹介』藤原姓宮原家々系図について』『大村史談』第六号 大村史談会 一九七一

野口 実『鎮西における平氏系武士団の系譜的考察』『中世東国武士団の研究』 高科書店 一九九四

樺山資雄ほか『地理纂孝』十二之巻(薩摩国河辺郡) 一八七一年写 太田 亮『姓氏家系大事典』第一巻(ア―カ)所収「伊作氏」 角川

書店 一九六三

正木喜三郎『府領考』竹内理三『九州史研究』 御茶の水書房 一九六八

鎌倉遺文研究会『鎌倉遺文』古文書編第一巻 東京堂出版 一九七一 (三四八号) 文治四年 薩摩伊作荘立券状案 (九五四号) 建久

八年 内裏大番役支配注文写

- 鎌倉遺文研究会『鎌倉遺文』古文書編第十一卷 東京堂出版 一九七九（七九四九号）建長七年 関東下知状  
坂本正仁「新義真言宗」『国史大辞典』第七卷 国史大辞典編集委員会 吉川弘文館 一九八六  
田中久夫「覚鑿」亀田 孜「覚猷」『国史大辞典』第三卷 国史大辞典編集委員会 吉川弘文館 一九八三  
櫛田良洪「覚鑿の研究」 吉川弘文館 一九九二  
泉谷康夫「任用国司について」『古代文化』第二十六卷五号 財団法人古代学協会 一九七四  
久田松和則「基督法師・寛運についての一試論」『大村史談』第十一号 大村史談会 一九七六  
久田松和則「キリシタン伝来地の神社と信仰」 富松神社再興四百年事業委員会 二〇〇二  
五味文彦・鳥海 靖「もういちど読む 山川日本史」 山川出版社 二〇〇九

## 資料・写真協力者及び提供者一覧（五十音順、敬称略）

諫早市教育委員会、石井克彦（埼玉県川の博物館）、井手泉、岩下正幸（長崎県野鳥の会）、上田豊彦（日本野鳥の会）、内田隆一、大村市子ども科学館、大村市上小路 緒方家、大村市教育委員会、大村市小姓小路 原家、大村市立史料館、大村市立図書館、大村セラテック株式会社、気象庁、九州考古学会、吳天宮、国土地理院、西海国立公園九十九島水族館海きらら、財団法人古代学協会、佐々木浩（筑紫女学園大学短期大学部）、佐世保市教育委員会、芹澤恵子、宅島富士彌（日本野鳥の会）、谷口秀樹（日本野鳥の会）、誕生院、富松神社、長崎県危機管理課、長崎県教育センター、長崎県埋蔵文化財センター、長崎県立城南高等学校、長崎大学附属図書館、日本植生史学会、日本大学、野田神社、東彼杵町教育委員会、氷川神社、福井県教育委員会、福井県立若狭歴史民俗資料館、本経寺、本地寺、松浦史料博物館、松原八幡神社

### ○編集協力者

大村市教育委員会

## 編さん関係者名簿（順不同・敬称略）

平成二十五年三月現在

### ○大村市史編さん委員会委員

委員長

吉野

哲（大村市副市長）

副委員長

田中

誠

委員

有識者

杉田 亮毅

後藤恵之輔

脇田 安大

### 専門家

高塚かず子

福田 年子

船橋 修一

藤野 保

清水 紘一

満井 録郎

梅田 和郎

久田松和則

○大村市史編集委員会委員

委員長

副委員長

委員

大石 一久

藤野 保

久田松和則

松岡 數充

阪口 和則

宮崎 正隆

秀島 貞康

満井 録郎

大石 一久

清水 紘一

五野井隆史

半田 隆夫

柴多 一雄

高野 信治

田中 誠

梅田 和郎

杉谷 昭

○第一卷 専門部会

自然部会

部会長

副部会長

委員

阪口 和則

宮崎 正隆

松岡 數充

原始・古代部会

部会長

委員

松尾 公則

執行 利博

池崎 善博

寺井 邦久

小原 良典

秀島 貞康

川道 寛

中尾 篤志

稲富 裕和

木本 雅康

○第一卷 執筆者

自然編

阪口 和則

松岡 數充

清水 洋

宮崎 正隆

松尾 公則

執行 利博

池崎 善博

寺井 邦久

小原 良典

原始・古代編

川道 寛

○監修者  
全卷

中尾 篤志  
稲富 裕和  
秀島 貞康  
木本 雅康  
満井 録郎  
久田松和則

第一卷

自然編

久田松和則  
柴多 一雄

原始・古代編

阪口 和則  
宮崎 正隆  
秀島 貞康

○大村市  
市史編さん室

室長  
係長  
嘱託

稲富 裕和  
鈴木 伸之  
盛山 隆行  
佐原 貴子  
宮本 由香

大村市史編さんについての自然部会執筆者会議が平成二十二年四月二十五日にもたれ、「旧版 大村市史」の自然編は一部の記載にとどまっていたため、自然編はあらたに原稿を起し、バランスの良い自然編を目指した。

第一編の自然編については、執筆者各位の積極的なご協力によってバラエティーに富んだ内容が盛り込まれ、大村市の自然を理解するのに役立つものと期待される。

期間中、執筆予定者の思わぬ死亡や病気などが重なった。原稿書きがすでに始まっていたため新たに代わりの執筆者を選定できず、執筆分担の負担増が出るなど原稿提出に大幅な遅れが出た部分もあった。また、原稿提出後、第二校正のゲラが回ってきた段階の平成二十四年十一月五日午前九時七分に大村市で震度Ⅱの地震があった。そのため急遽、図や本文の一部を追加あるいは変更することにした。

最後に本編の刊行にあたり、大村市史編さん室の皆様には大変お世話になりました。

平成二十五年三月

自然部会長 阪口 和則

## あとがき

新編の市史の特徴は既刊本と比較して、考古学を基本的な手法として記述を行った原始・古代編を構成したことにあります。戦後の日本経済の高度成長は、目を転ずれば遺跡や遺構の破壊の上に成り立っているものとも言い換えることができます。このような事柄は大村市においても同様の現象であり、これらを正當に、かつ客觀的に評価を行うことが肝要であることは勿論のことと言えます。そこで、原始・古代編の編さんに当たりましては、本市の考古学的事象を長崎県ひいては全国的レベルで評価できる方がたに執筆していただきました。執筆の要領に關しましては図や写真などを多用し、また、記述の論拠とした文献や遺跡などの情報についても後学の一助となれば、との観点から最大限掲載・明示することとしました。勿論すべての情報を掲載することは不可能であり、取捨選択せざるを得ませんでした。よって掲載した文献等の原典にお目通しをいただければと思っております。

原始・古代編編さんにあたりまして、資料や情報の提供をいただきました市民の皆様はじめ、関係諸機関に対しお礼を申し上げます。また市史編さん室の皆様には入稿・校正などにお手煩わせをお願いいたしました。部会を代表いたしまして衷心より感謝申し上げます。

平成二十五年三月

原始・古代部会長 秀島 貞康

新編 大村市史 第二卷 自然・原始・古代編

平成二十五年三月十五日 発行

編集 大村市史編さん委員会  
発行 大村市

〒八五六―八六八六

長崎県大村市玖島一丁目二五番地

電話 ○九五七―五三一四一一(代表)

株式会社 ぎょうせい

〒一三六―八五七五

東京都江東区新木場一丁目一八―二

電話 ○三一六八九二―六六六六

オムロプリント株式会社

〒八五六―〇〇一六

長崎県大村市原町八四―三

電話 ○九五七―五四―七〇〇〇

印刷